

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 地域振興整備基金の積立金では、ふるさと納税等の件数と納付額はいくらか。

答 合併後、これまでのふるさと納税等は、71件、885万9千円、復興応援寄付金は、現在まで、248件、7,344万2千円である。

問 復興応援寄付金の使途について、どのような考えをもっているのか。

答 これまで、子どもたちへのリフレッシュ事業等に充当してきた。今後も市の復興のために有効に活用していく。

問 道の駅上り線のガソリンスタンド跡地の利用は、どのようにするのか。

答 駐車場として整備し、利用していく。

問 整備する駐車スペースは何台になるのか。

答 33台分のスペースとなる。



道の駅安達上り線駐車場整備等の説明を受ける様子

市民産業常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 市で保有する放射能測定サーベイメーターは、定期的に更正しなければならないのか。

答 今回更正するNaI(エヌエイアイ)シンチレーションサーベイメーターは、国の基準器として定められており、正しい値を測定する上でも、定期的に検査、更正をしなければならないものである。

問 用排水路補修事業について、今回、何月までの調査箇所を対象としているのか。

答 7月末までの調査箇所について対応する考えである。

問 竹田根崎通りへの街路灯設置について、デザインも含めどのような考え方で設置されるのか。

答 竹田根崎通りは、関係者の協議により景観づくりを進めてきた経過がある。今回の街路灯は、基本的には商業灯であり、街の賑わいづく

りを目的として、最終的なデザインは地元協議で決定される。今回街路事業が進み、道路工事と合わせて、今年度中に街路灯の整備を行うことになったものである。



草地除染ほ場現地調査の様子

9月10日に付託された各議案は、9月13日～14日にかけて、各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日25日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員会での審査の主な内容をお知らせします。

建設水道常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 下山田団地10戸の除却後の跡地利用について、どのような計画があるのか。

答 現在策定を進めている公営住宅等長寿命化計画の中で、今後の利活用を検討したうえで、当該敷地が必要である場合は、計画に沿った活用を図って参りたい。

問 安達地域において更新していない石綿セメント管は、どの程度か。

答 石綿セメント管の更新は、平成22年度から着手したところである。平成23年度終了時点での残延長は、12.49kmであり、計画延長14.5kmに対して86.1%が未施行となっている。



市営住宅(芳池団地)施設災害復旧事業の現地調査の様子

文教福祉常任委員会

二本松市一般会計補正予算について

問 新殿地区における「こども園」整備のため、委託料が補正となった経過は。

答 杉沢保育所、新殿幼稚園及び旭幼稚園は、施設の老朽化が進むとともに、入所・入園する児童が減少傾向にある。また、杉沢保育所と旭幼稚園については、災害等の危険区域内に立地していることから、3施設を統合し、新殿地区に「こども園」を建設することとなったため、設計委託料等の補正を行ったものである。

問 安達中学校のグラウンドに夜間照明設備を設置するとのことだが、設置する位置はどこか。

答 軟式野球ができるように、グラウンド西側を中心に設置する。



羽山荘敷地崩落箇所の説明を受ける様子